

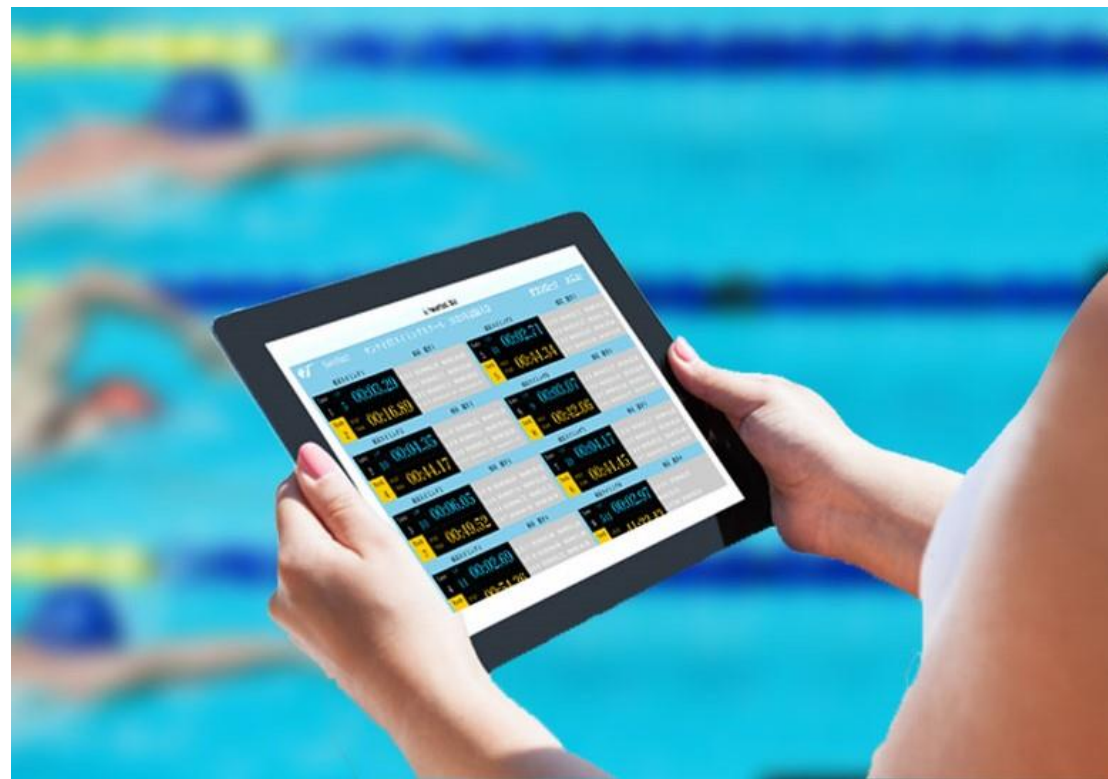


ご購入いただき

ありがとうございます。

SwimTouch

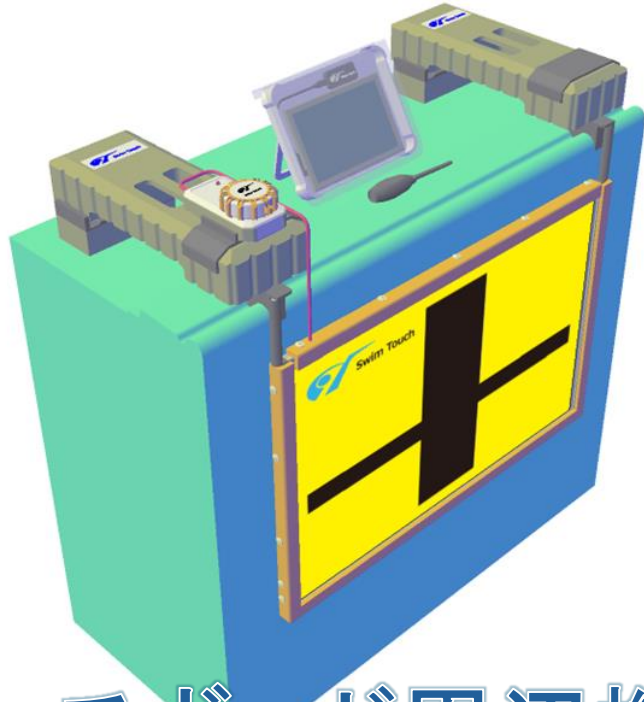
取扱説明



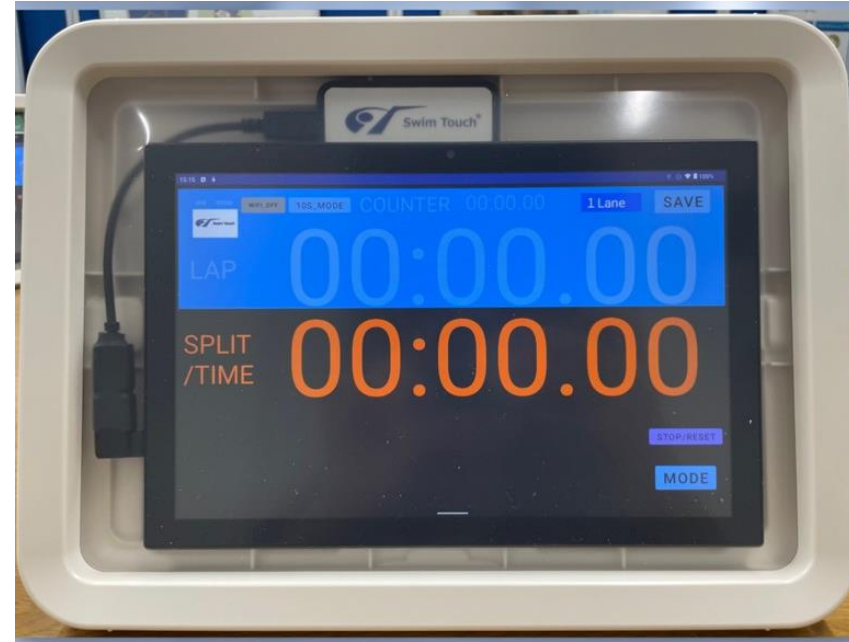


ご利用いただく前に…

ご利用いただく前に、
同梱している「SwimTouch取扱説明書」内の
5.ご使用前に(1)とご使用前に(2)を
よくお読みいただき、セット又は設定を
済ませてからご利用ください。



タッチボード周辺機器



専用タブレット

推奨する起動方法

保管場所により、起動順など前後する場合があります。
赤字の順番はお守りください。ご認識いたします。

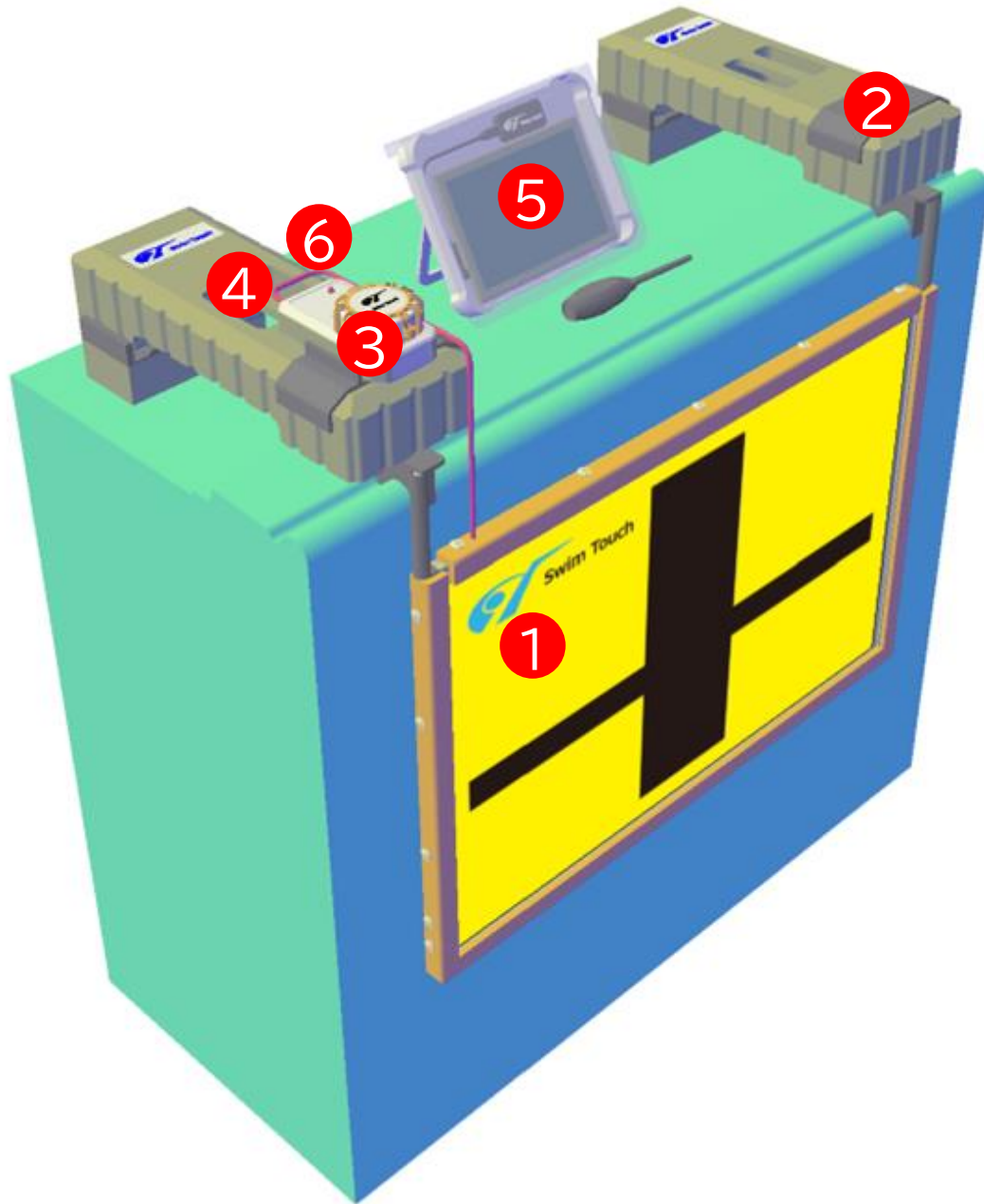


タブレット側

- ①電池残量が十分あることを確認し、充電コードを外す
- ②起動中のアプリがないことを確認し、「SwimWatch」アプリを起動
- ③防水ケースを開き、タブレットを入れ、無線モジュールを差す
- ④しっかりと防水ケースを閉じて、コントローラーのそばに置く
- ⑤複数台ある場合は、無線モジュールの色を見て、同じ色のコントローラーのそばに置く
(赤枠画像参照)

※同じ色の無線モジュールとコントローラーが連動しております





タッチボード周辺機器側

- ①チューブに水が入らないようにしながら、タッチボードを設置(固定されているか確認)
- ②ウェイトに水を入れて、コントローラー用ストッパーで蓋をして、アングルに形をはめてしっかりと押さえる
- ③コントローラーのライト部分をプール側にしてセット
- ④チューブをコントローラーに接続(押して右に回し、ロックをかけます)
- ⑤タブレットの「SwimTouch」アプリが起動していることを確認
- ⑥コントローラーの電源を入れる



誤認識とは

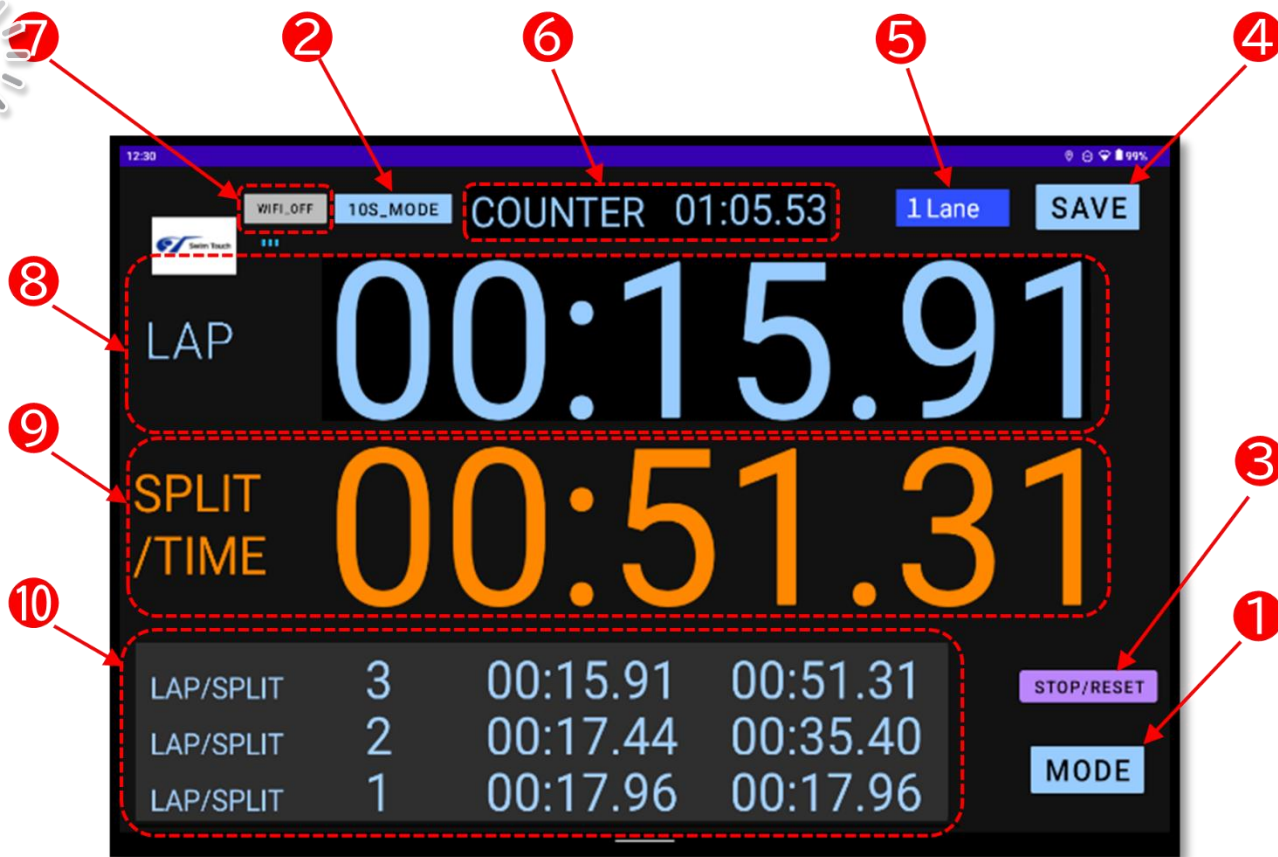
「SwimTouch」の仕組みは、電源が入っているホイッスル、コントローラーは、常に信号を送りあい、その信号を無線モジュールが受け取り、タブレットに表示をさせています。

SwimTouchアプリを起動する前に、タブレットに無線モジュールを接続すると、勝手にブラウザを開いてしまうなどの現象が起きます。

そのような状態になってしまった場合は、**起動方法・終了方法**を
始めからやり直してください。



ホーム画面の各部名称と はたらき

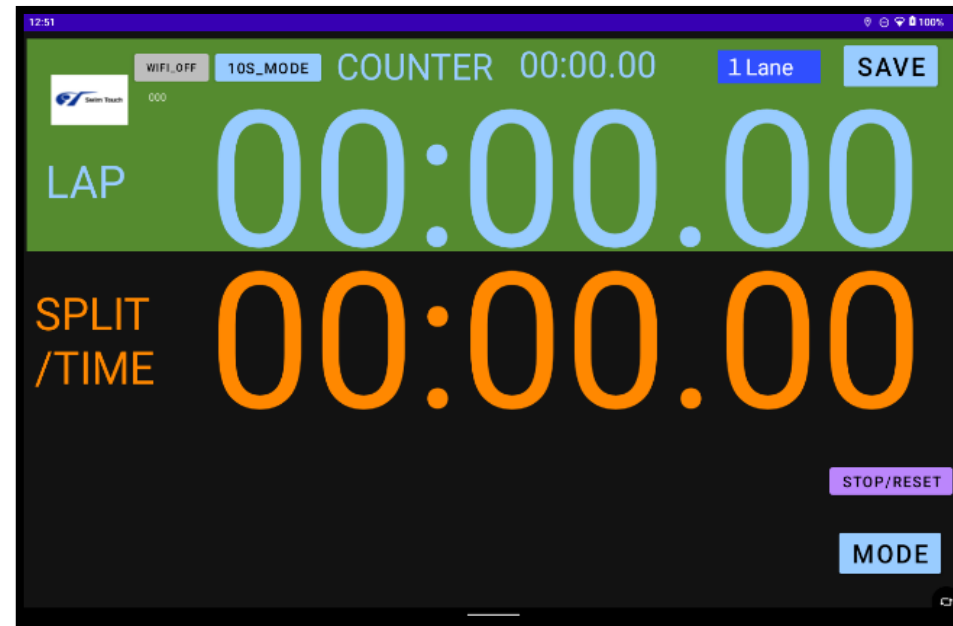


- ①MODEボタン
- ②10S_MODEボタン
- ③STOP/RESET ボタン
- ④SAVEボタン
- ⑤LANEボタン
- ⑥COUNTERエリア
- ⑦WIFIエリア
- ⑧LAPエリア
- ⑨SPLIT/TIMEエリア
- ⑩HISTORYエリア

- :ホイッスルモード及びキックモードへ切り替え
- :インターバル(10秒間隔)モードへ切り替え
- :タイムカウントをストップ及びリセット
- :タイムデータをセーブ
- :プールのレーン番号を切り替え
- :トータルタイムを表示
- :無線Wi-Fiの接続状態を表示
- :ラップタイムを表示
- :スプリットタイムを表示
- :ラップナンバー、ラップタイム、スプリットタイムを順次表示



ホイッスルモード

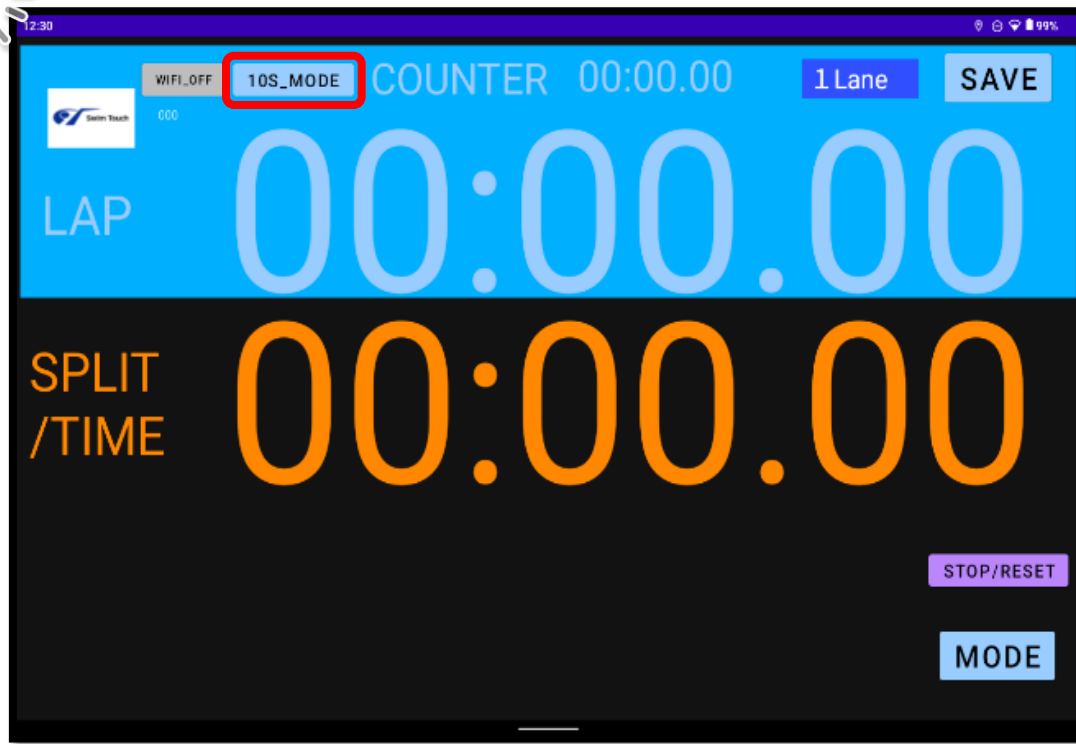


キックモード

MODE説明

ホイッスルモード :ホイッスルでスタート

キックモード :キックでスタート



10S_MODE



インターバル(10秒間隔)モード

10秒間隔モード:複数の泳者が10秒間隔でスタートして、測定するモードです。
【機能】人数制限は無しでラップタイムを表示可能、データの保存はできません。
※ 5秒間隔などのカスタマイズ可能。

ホイットスルモードで スタートする場合

スタート合図(ホイットスル)と同時に、LEDライトが点灯し、LAPエリアが赤色に数秒なり、タイムカウントがスタートされます。

泳者のタッチごとにラップタイムとスプリットタイムを表示します。

その時、タッチ後約3秒間は、タッチしても反応しない仕様になっています。

リセットすると待機状態に戻ります。



キックモードで スタートする場合

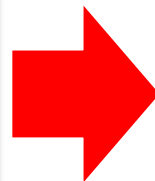
泳者のキックと同時に、LED
ライトが点灯し、LAPエリアが
赤色に数秒なり、タイムカウントが
スタートされます。

泳者のタッチごとにラップタイムと、
スプリットタイムを表示します。

その時、タッチ後約3秒間は、タッチ
しても反応しない仕様になってい
ます。

リセットすると待機状態に戻ります。





タイムカウントのストップ及びリセット方法

数字の上をダブルタップして、ボタンを有効化し、待機状態を解除します。

[STOP / RESET]ボタンをタップすると、LAPエリアが黄色になりタイムカウントがストップします。

もう一度タップすると、タイムカウントがリセットされます。

※リセットすると、タイムデータは削除されますので、ご注意ください。



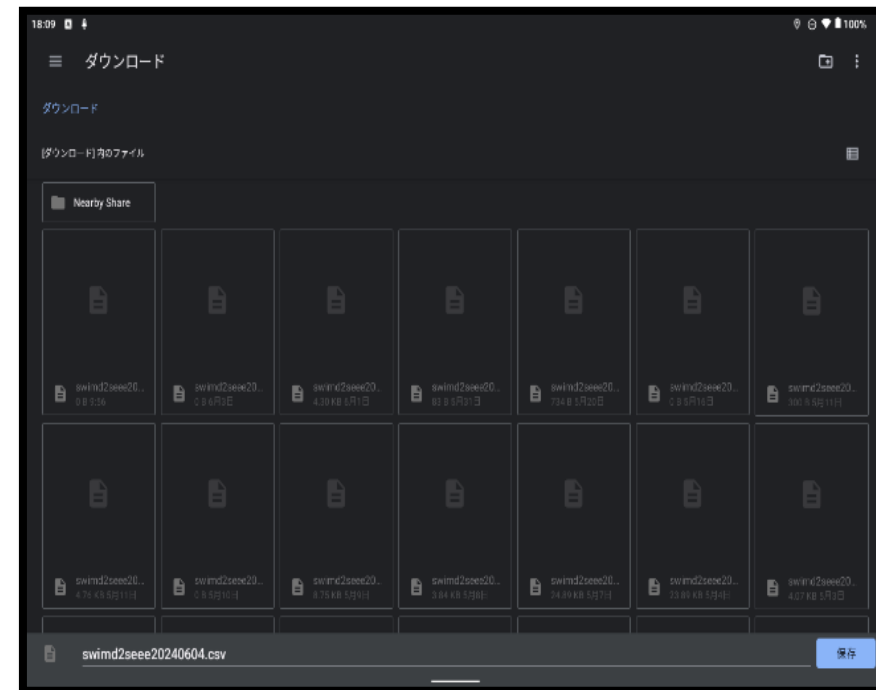
タイムデータ のご注意点

タッチボードにタッチしてから、約3秒間は、再度タッチしても、反応しません。

タイムデータは、同じ日付の[SAVE]ボタンから次の[SAVE]ボタンまでのデータを保存します。

※タイムデータを保存せず、24時(日付)を跨ぐと、アプリの起動時に保存画面が表示されます。

日付を跨ぐ前に、タイムデータの保存をしていただくようお願いいたします。



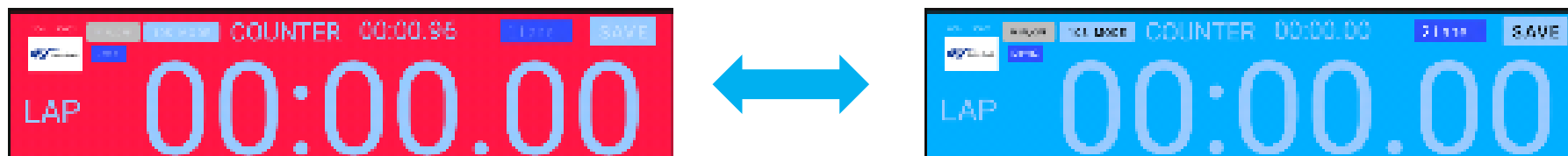


ホイッスルで待機状態にする方法(複数台利用時)

待機状態とは、計測を始める状態のことを待機状態といたします(右図参照)



ホイッスルモード時に、複数台すべてを待機状態にしたい場合は、ホイッスルを押し続けると、周辺のSwimTouchと同期を始め、赤色状態と待機状態を繰り返し表示します。(下記参照)

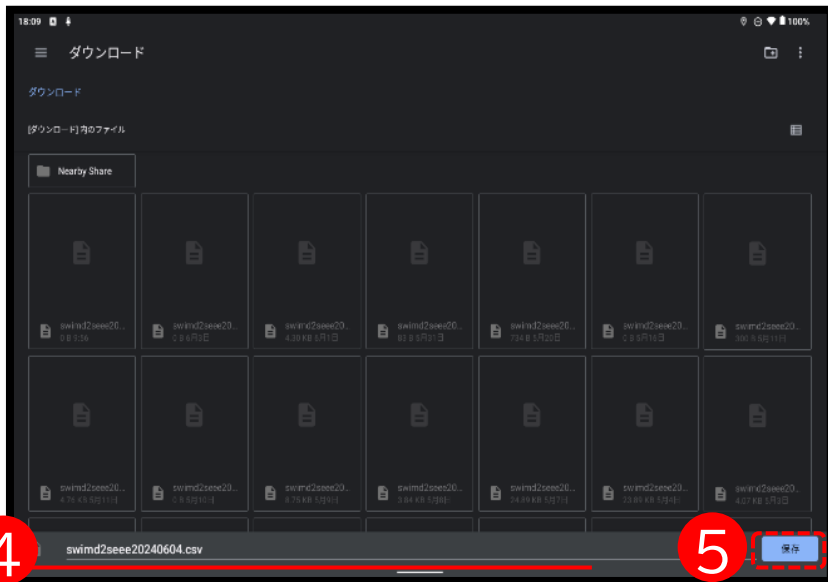
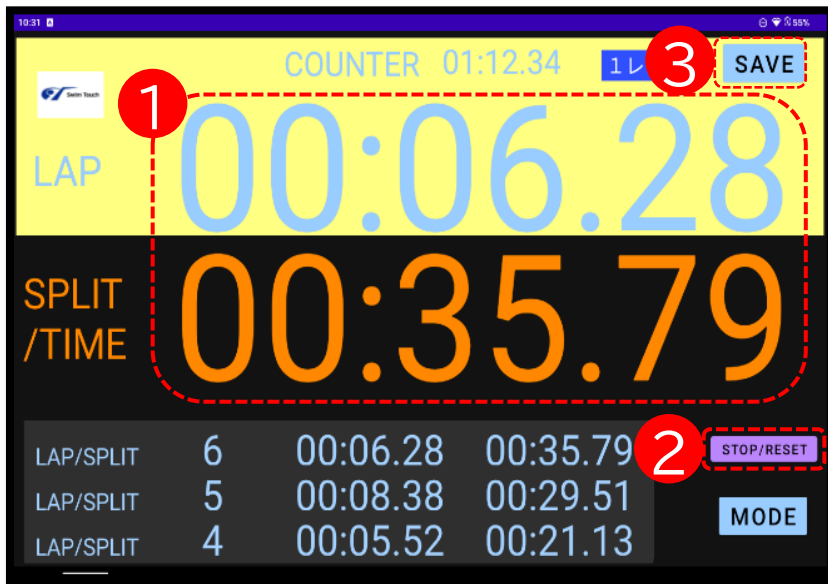


待機状態になった瞬間に、ホイッスルのボタンを離すと、待機状態になります。

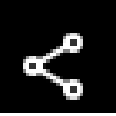
複数のSwimTouchの動きを合わせたい場合は、ホイッスルを押し続けて、表示画面の動きを合わせるようにしてください。

タブレット内部への タイムデータの保存方法

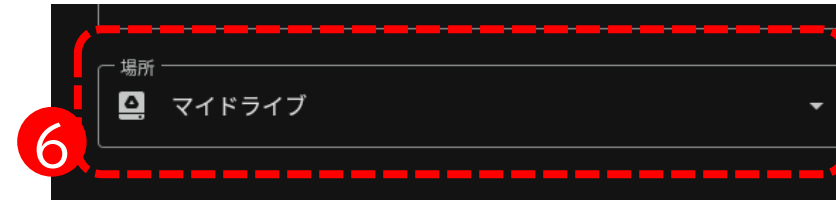
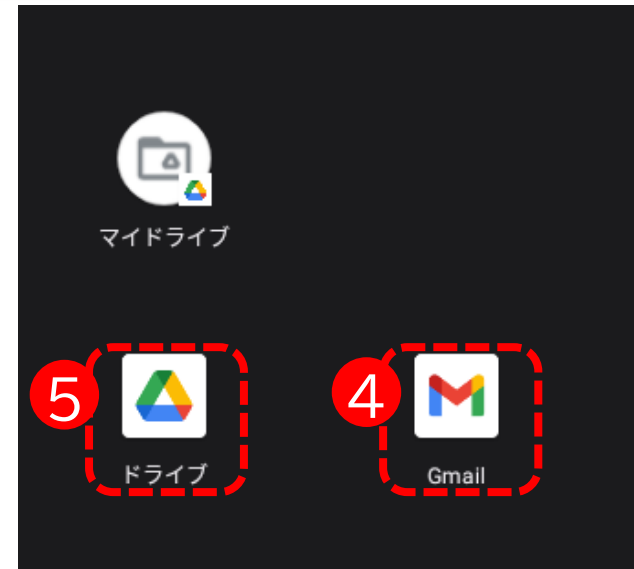
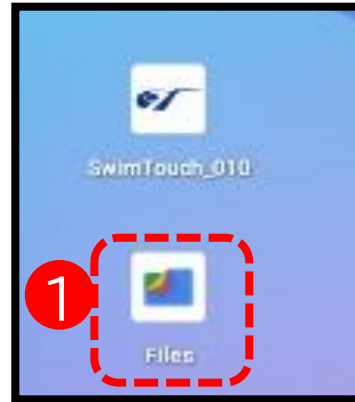
- ① 違う練習方法を始める前など、タイムデータを保存したいタイミングで、ボタンを有効化するために、数字の上をダブルタップします。
- ② [STOP / RESET] ボタンをタップすると、[SAVE] ボタンをタップすることができます。
- ③ [SAVE] ボタンをタップします。
- ④ ファイルの保存名を確認し、変更したい場合は、変更してください。
- ⑤ 保存をタップします。
- ⑥ 保存が完了すると、元の画面に戻ります。

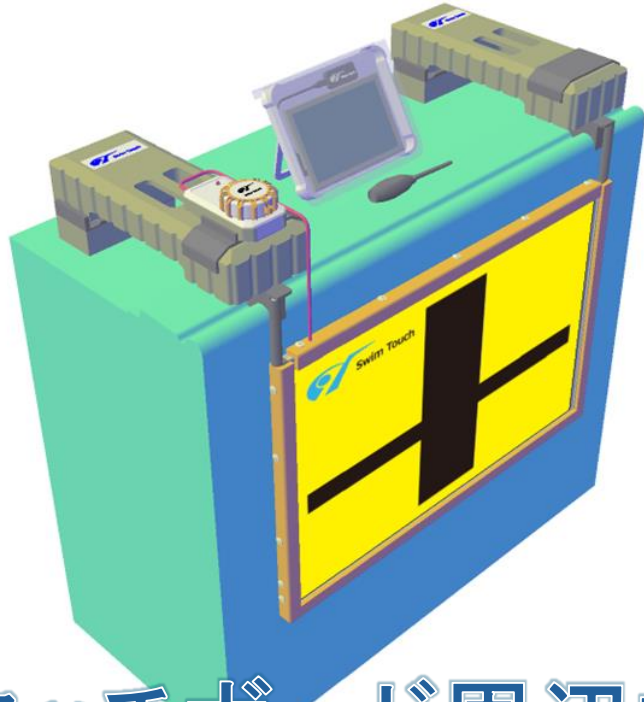


タイムデータをPCや スマホへの共有方法

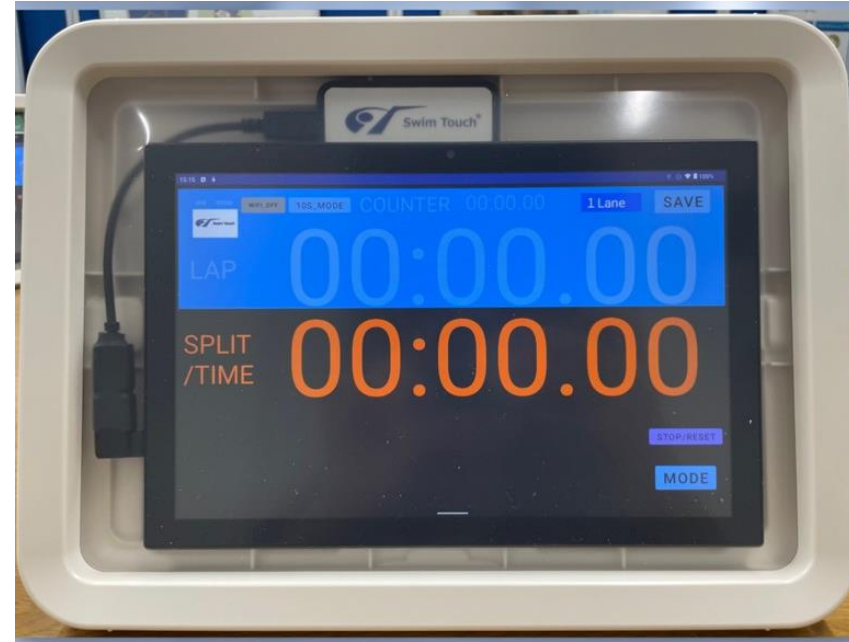
- ① [Files]アプリをタップします。
- ② ダウンロードをタップ
- ③ 保存したいファイルをタップし、 左上の共有マークをタップします。
- ④ Gmailで送りたい宛先へ送付するか、
- ⑤ タブレットに登録されているアカウントのドライブに共有するかを選択してください。
- ⑥ ドライブに共有する場合は、フォルダ選択も可能です。

お好みの共有方法をご利用ください。





タッチボード周辺機器



専用タブレット

推奨する終了方法

保管場所により、順番が前後する場合があります。

赤字の順番はお守りください。計測データが消える可能性があります。

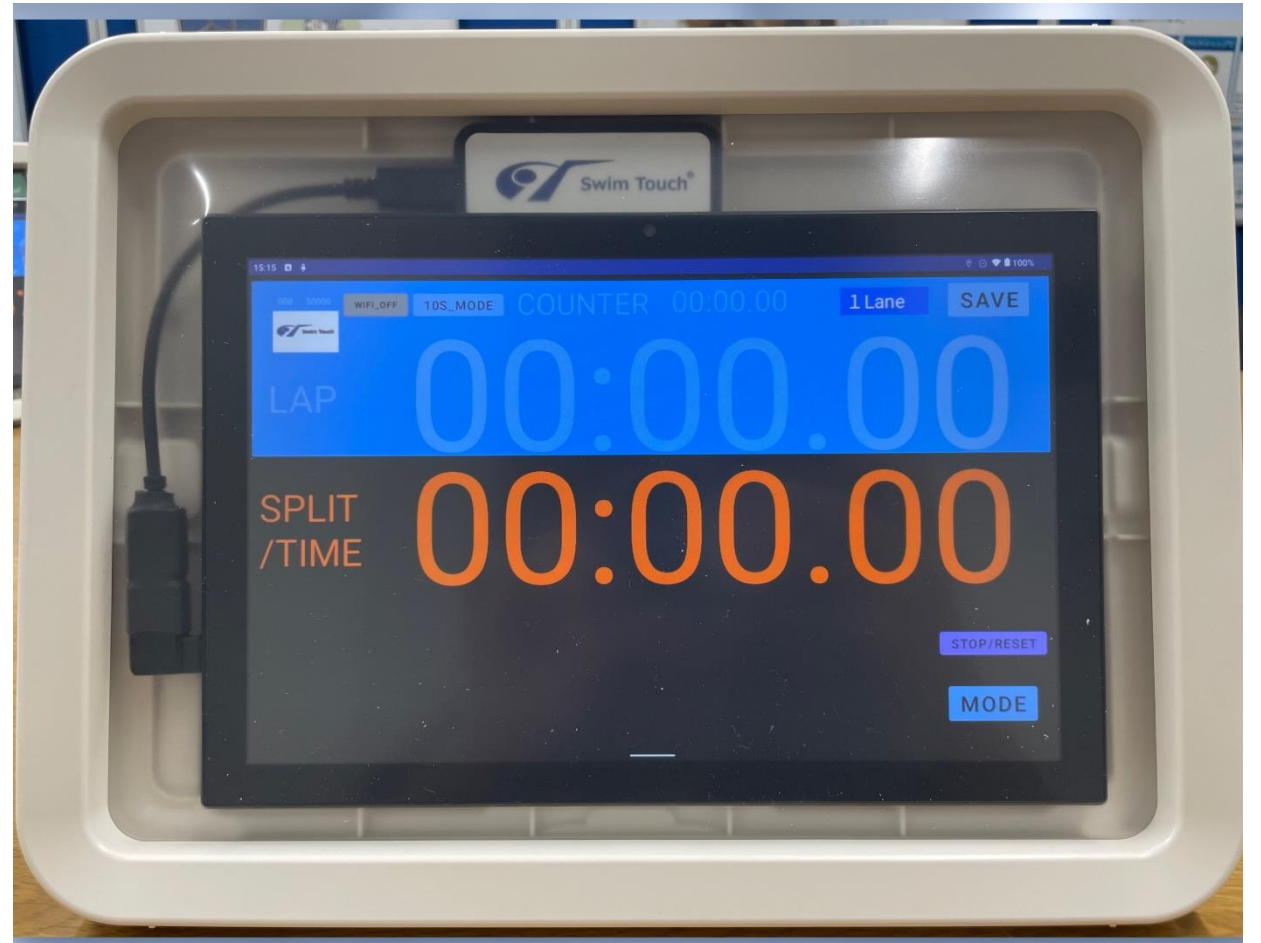


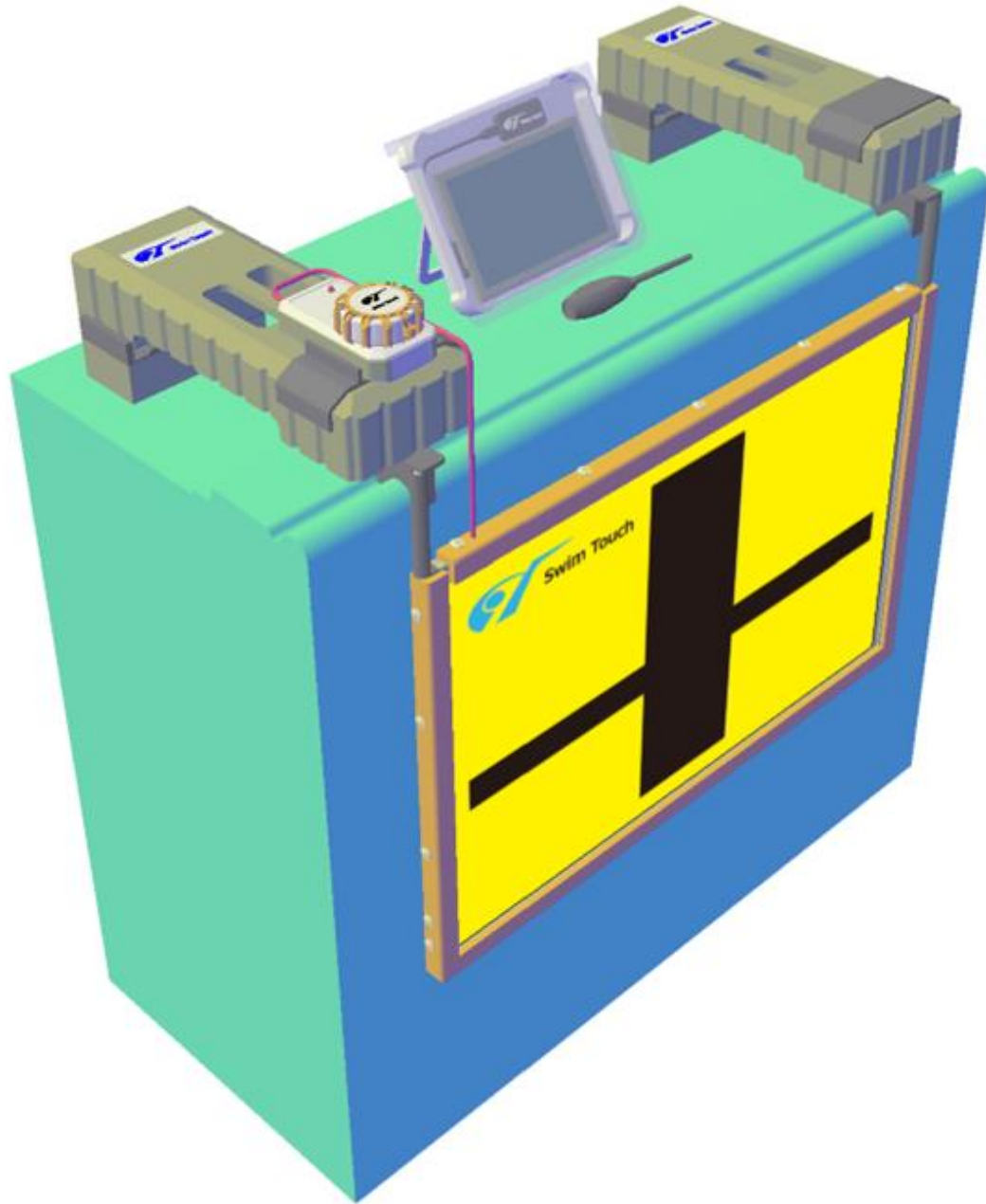
タブレット側

※タイムデータを保存してからの終了方法

- ①計測画面に戻り、コントローラーの電源を切り、アプリを終了する
- ②水のかからないところで防水ケースを開き、無線モジュールを抜き、タブレットを取り出し電源ボタンを押す。
- ③専用タブレットを保管場所に移動し、充電コードを差す。

※専用タブレットは、自動で画面消灯しないよう設定しておりますので、バッテリー保護のため電源ボタンを押すようお願いいたします。





タッチボード周辺機器側

- ①コントローラーの電源を切り、チューブを外す
- ②ウェイトを外し、水を抜いて保管場所に戻す
- ③タッチボードを外し、保管場所に戻す。



操作上の ご注意

- 防水ケース内の無線モジュールはケースから取り出さないでください。
- コントローラーとタブレットの距離はすぐ近くでご利用ください。離して利用すると、データを受け取れません。
- タブレットの画面は自動回転をOFFに設定。**必ず横画面**でご利用ください。
- SwimTouchについてのご不明点等は、販売店様へお尋ねください。

ご視聴いただき、ありがとうございました。